

## 2015 国際教養科 NEWS 1月(2)

### 「信大 YOU 遊フェスティバル」に西校生徒14名がスタッフとして参加（高大連携）

昨年の12/7(日)に「第13回信大 YOU 遊フェスティバル」がありました。これは、信州大学教育学部の学生が長野市内の小学生約200人を教育学部キャンパスに招き、いろいろな講座を開いて子どもたちと一緒に楽しむイベントです。今回は、信大教育学部助教授の林寛平先生のご指導のもと、信大生が主体的に「YOU 遊フェスティバル実行委員会」を組織して準備・運営をしました。また、今回実行委員長をしていた教育学部の3年生が、本校OGの村松知美さんでした。高校生の頃にもまして、とても頼もしく成長していたことが、西校教師としても、とてもうれしかったです。高校生にとっては、子ども達の「分かった!」「できた!」という表情を間近で見ることができ、発見や成長を一緒に学べる、とても貴重な機会でした。参加した西校生たちは、大学生と一緒にスタッフとして子どもたちと思いっきり遊ぶことができ、みな楽しかったと、顔を輝かせていました。



上記左の写真は「アウトドアクッキング」という講座で、屋外で、木の棒にホットケーキミックスをつけて、火を起こしたところにあててパン風にやいているところです。また、集合写真は「ヒンメリ」というフィンランドの伝統的な飾りをつくるという講座です。

#### 【参加生徒感想】

- ・私は「ハンターと雪の女王」に参加しました。活動の中ですごいと思ったのは、子供達が自主的に生き生きと動いていたことです。私がお子達を引っぱって行かなければいけないものだと思っていたので、逆に子供達からの提案や行動があった時は驚いたし、うれしかったです。また、この活動を考えた信大生もすごいと思いました。(M・K)
- ・去年も参加したのですが、今年も本当に本当に楽しかったです！一緒に遊んだり、ご飯を食べたりできて良かったし、大学生の子供との関わり方も間近で見ることができたので、とても勉強になりました。(I・M)

- ・子供と一緒に遊ぶのがとても楽しくて、子供達が楽しそうにしているととても嬉しくて来年も絶対さんかしたいと思いました。(K・U)
- ・普段の生活では、子供と接する機会が少ないので、YOU 遊フェスティバルでの活動はとても新鮮でした。自分にとってとても良い経験になりました。本当に楽しかったです。次回も参加したいです。(S・U)
- ・今回 YOU 遊フェスティバルに参加して、あらためて自分自身子供が好きなんだと感じました。子供達と接している中で、どのように対応すればいいのかわからないことがありました。なので、またこのような機会があればぜひ参加させていただき、子供との接し方などを知っていききたいなと思いました。(R・N)
- ・私は「お菓子の家を作ろう」という企画に参加させて頂きました。子供達のお菓子の家を作っていく過程を一緒にお手伝いさせて頂く中で、自分の思いもしない発想を教えられたり、たくさん学ぶことができました。良い経験をさせて頂き、ありがとうございました。(E・M)
- ・子どもと楽しむ体験は初めてでした。信大の学生の皆さんは、子ども達が体育館に入ってきたとき、子ども達 の目先に併せて会話を楽しんでいた姿がとても印象的で、コミュニケーション能力の高さを感じました。子ども達との意思疎通の仕方を学ぶことができたと思います。(M・M)
- ・小学生の子とみんなでお菓子の家を作るのは大変だったけど、できたときの達成感はとても大きかったです。(A・M)
- ・小さい子ども達とコミュニケーションを取ることは、意外と難しいということを学ぶ良い機会になったと思います。

### 「信大茂菅まんてん農場」に西校生徒10名がスタッフとして参加（高大連携）

信州大学の学生が、子どもと関わりながら、地域の方と共に地域貢献を行う 信大 YOU 遊未来 (Chance) の一環として、長野市茂菅地区の畑で、子どもと共に農作業を楽しむ活動です。「子ども達と満点の笑顔で、満天の青空の下、栄養満点の野菜をつくる」を目標に、今年度7月19日(土)に、長野西校生は初めて参加させて頂きました。本年度、教育学部3年の田中優さんが、長野西高校との連携担当と信大茂菅まんてん農場の代表を兼任していることから、本校に何度も来校して準備を進めてくれました。参加した子ども達は、下は1歳2歳の赤ちゃんから上は5歳のやんちゃな僕まで、保育園児を中心に子供30人と、信大の学生13名+3役そして西校生10名で活動しました。



西校の生徒たちは、ブルー、レッド、イエロー、グリーン、オレンジのチームにわかれ、子供たちとたくさん遊んでくれました。ジャガイモ掘りとマッシュポテト作り、そして色々な味付けで、掘ったばかりのジャガイモをおいしくいただきました。

膝の上に子供を乗せてお行儀よく話を聞かせたり、走り回って一緒に遊んであげる様はさすが西校生。信大生に引けを取らないお姉さんぶりでした。この日のために、いろいろ企画を練って準備をしてくれた信大生には心から感謝です。子供だけでなく、子供たちのお父さんお母さんも、まんてんの笑顔で過ごせた1日でした。



### 【参加生徒感想】

- ・普段農業をすることはなく、小さな子に怪我があってはいけないと思い、不安もありましたが、大きな怪我もなく、楽しい時間を過ごせました。 (I・M)
- ・私は小学校4年生の時から6年生の時まで茂菅に参加していたことがありました。当時は農作業をするという機会があまりなかったので、毎月の活動がとても楽しみでした。そうして振り返ると、茂菅から学んだ事が数多くあります。今回の活動の子供達の様子がとても生き生きしていたので、茂菅の存在はとても大切だなと思いました。また、小学生の時大好きだった茂菅の大学生のお兄さん、お姉さんの立場で活動できたことが、とても嬉しく感じました。 (M・K)
- ・子供を楽しませたいという気持ち1つで行動し、あんなにも子供たちを笑顔にさせてしまう大学生の皆さんはすごいと思いました。これからもこの様な活動を続けていって欲しいです！一緒に活動できて、とても良かったです。ありがとうございました。 (K・M)
- ・とても貴重な体験ができ、楽しかったです。私も信大生の方々のような子どもとの接し方を目指して行きたいです。 (T・M)

・小さい子どもとふれ合える機会ができてとても楽しかったです。最初は声をかけても返事がなかったりしたけど、ふれ合っていく中で、心を開いてくれて嬉しかったです。(F・R)

## 信大茂菅まんてん農場の流れ

### ★活動日当日

8:00 長野西高校集合

9:00～ 準備

9:40 始めの会 開始

10:00～11:30 活動（ゲームや農作業など、毎月異なります）

11:30 もすげ絵日記

11:45 終わりの会

12:00 子ども解散

13:30 頃 信州大学教育学部にて高校生同士の感想発表会

14:00 信州大学教育学部で解散

## 日仏高等学校ネットワーク・コリブリ総会 盾贈呈 1/6(火)

コリブリは、日本語を教えているフランスの高校とフランス語を教えている日本の高校の交流を編成し組織立てることを目的としています。日本におけるフランス語教育は約 150 の高校でおおよそ 1 万人の高校生に行われています。一方、フランスでは日本語は約 30 の高校でおおよそ 3 千人の生徒に教えられています。ネットワークに加入した高校は、日本語とフランス語で書かれたコリブリ憲章にサインをしますが、現在その数は日本の高校が 28 校、フランスの高校が 31 校になっています。長野西高校は、このネットワークに加盟して、毎年フランスからの交換留学生を受け入れ、また、フランスに生徒を派遣しています。



(コリブリから盾を授与された上原校長)